

有田農産有限会社が農産物集出荷処理加工場を新設！

6月24日（水）、役場応接室にて『有田農産有限会社の工場設置に伴う立地協定調印式』が行われました。

有田農産有限会社は、平成13年から本格的に農業に取り組み、大根を主体とした機械化一貫作業体系を確立して、年間延べ137haの露地野菜経営を展開しています。

今回、新設する農産物集出荷処理加工場の整備により、高度化する消費者ニーズに対応した農産物生産加工流通販売の拠点が確立され、更なる地域の農業所得の向上と雇用の創出による地域活性化に寄与するものと期待されます。

代表取締役の有田通文さんは、「加工場の新設に伴い、雇用の創出や地域の活性化を図り、産地間競争に負けない経営に取り組みたい。また、大隅半島、鹿児島県全体が元気が出るように新たな気持ちでがんばりたい」と話されました。



まちの風物詩 ～桃狩り～



6月6日（土）、上平重雄さんの桃農園にて、『桃狩り』が行われました。

これは、上平さんが「収穫を通して、自然にふれあい、ゆとりをもってほしい」と今年初めて自宅の桃園を教育の一環として子供たちに開放したものです。

子供たちは、甘い香りが漂う園内で『桃狩り』を楽しみました。

桃は、スーパーで買うものと思っていた子供たちは、貴重な体験をし、もぎたての桃をその場で頬張り、その甘さにもびっくりしていました。

南九州ドッジボール選手権！

6月20日（土）、大崎町総合体育館にて第7回南九州4県対抗ドッジボール選手権鹿児島県大会が開催され、県内の小学校から33チームが参加しました。

どのチームも真剣な眼差しで、チームワークの証である円陣を組み、大声をあげてボールを投げる姿に、観客も歓声をあげ応援していました。

優勝は、鹿児島市から参加の『MONKEY MAGIC』（西谷山小）でした。上位6チームが熊本県で開催される本大会へ出場します。

